

ホームページID 751376216 (ほのか診察室) 問合せ:市民病院(代表) (TEL.22-2171)

あなたにあった選択を！ 知っておきたい透析治療の種類

監修 市民病院 人工透析センター

肢をとる場合もあります。

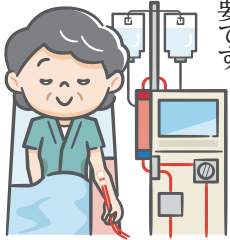
今回は、透析の種類と市内で受けられるサポート体制、そして何より大切な予防についてお話します。

透析治療の2つの大きな選択肢

腎臓の働きが低下した際に行う透析治療には、主に血液透析と腹膜透析の2種類があります。

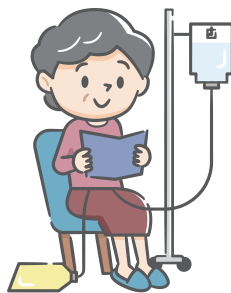
血液透析(HD)

血液を体外に取り出し、人工腎臓(透析器)で老廃物や水分を取り除き、きれいになった血液を体に戻す方法です。治療は、医療機関で行います。医療スタッフが管理を行うため、ご自身で行う手間がほとんどありません。治療は週3回、1回あたり4時間程度の通院が必要です。



腹膜透析(PD)

ご自身のお腹の中にある腹膜を利用し、透析液を入れ替えることで老廃物や水分を取り除く方法です。原則として自宅や職場で、ご自身で行います。通院は月に1〜2回程度で済むため、通院の負担が少なく、比較的自由に時間を使いやすいのが最大の利点です。治療は毎日、数回(または機械を使って夜間に)、ご自身で透析液の交換作業を行う必要があります。



市で受けられる治療とサポート

透析治療の選択は、ご自身の体調だけでなく、ライフスタイルやご家族の状況などを考慮して決めることが重要です。

市内の医療機関では、腎臓専門の医師や看護師、臨床工学技士が、どちらの透析を選ぶべきか、メリット・デメリットを含めて丁寧に相談に乗っています。納得いくまで相談し、ご自身に合った方法を選ぶことができます。

血液透析を選ばれた場合、市内の一部施設では無料送迎サービスを実施しており、ご高齢の方の通院負担を軽減しています。住み慣れた新城で、適切な治療を安心して続けられるよう、地域全体で支え合っています。

透析を必要としないための予防

治療に至る前に、腎臓を守ることが何よりも大切です。透析導入の原因の多くは、高齢の方に多い糖尿病や高血圧などの生活習慣病です。

市の健診で尿検査(蛋白尿)や血液検査(eGFR)を毎年必ずチェックし、異常があれば放置せず、すぐに医療機関を受診してください。早期の発見と対応が、透析への進行を食い止める鍵となります。

私たち一人一人が腎臓を大切にすることが、健康な新城の未来を守るにつながります。

